

ぎょうむそくほう 【ダイジェスト】

No.592

2022年 9月 27日

東海旅客鉄道労働組合
<https://union.jrtu.jp>



「ハートフルカンパニービジョン ⇒2027」の取り組み推進！

系統別業務委員会での議論がスタート

9月27日、JR東海ユニオンの申し入れに基づき、系統別の諸課題に関する業務委員会を開催した。今後、10月4日まで全4回にわたって、各系統や安全、非現業、中央新幹線部門、名古屋セントラル病院・健康管理センター等における諸課題について広範囲にわたる議論を展開する。

【主な議論内容】

① 共通

適正な労働時間管理、業務量に見合った要員配置、業務効率化、教育体制の構築、社員運用、管理者業務、熱中症対策、グループ会社・関係会社の人員不足、各種協会への加入

② 安全

安全衛生活動の更なる充実、事故・労災防止に向けた取組み、アサーション(確認会話)の浸透、責任事故の認定基準変更、鉄道施設におけるセキュリティ強化、地震・津波対策の強化、鳥獣類による輸送障害・運転阻害対策の強化

③ 非現業

フレックスタイム制の改善、年休取得向上の取組み、別居手当支給要件の見直し、育児への理解促進、異動通知早期化、在宅勤務、人事考課、各種システムの改善、業務効率化、業務改革、キャリア形成

④ 中央新幹線

中途採用拡大、ジョブローテーションの明示、資器材の有効活用・増配備、安全管理の徹底、職務手当、フレックスタイム制度拡大、遠隔地での勤務における各種制度改善、現場長即賞の拡大

⑤ 名古屋セントラル病院・健康管理センター

外注による業務補助拡大、看護職員等の処遇改善、医療環境・職場環境改善、健康診断会場の拠点化・設備改善・勤務時間化、地区管理手当の対象拡大

⑥ 運輸・営業

訓練の充実化、営業戦略、業務中マスク着用、IC区間跨り利用改善、乗務員養成・勤務制度改善、各種業務用端末改善、営業関係規程類電子化、指定席料金改定、駅可動柵、駅営業体制

⑦ 車両

車両区所設備老朽化・浸水対策、緊急出動時の長距離移動、老朽車両メンテナンス、メーカー不具合対策、新型車両導入に伴う設備・教育体制整備、車両データ分析による予防保全

⑧ 施設・電気

関係会社の人材確保、工事費・労賃改定、機械化・省力化・システム化、保守作業間合いの確保、教育体制の充実、社内ライセンスの見直し、設備保守レベルの見直し、工事積算簡素化 など

※議論内容の詳細については、後日発行の「ぎょうむそくほう」をご確認ください。